

## 出 納 長 室

### 第1 審査の概要

#### 1 審査の対象

- (1) 一般会計
- (2) 財 産

#### 2 実地審査場所

出 納 長 室

#### 3 審査の方法

知事から提出された歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、出納長室執行分を審査した。

審査に当たっては、

- (1) 決算計数は、正確であるか
- (2) 予算の執行は、適正かつ効率的になされているか
- (3) 財産の取得、管理、処分は、適正に処理されているか

などに主眼を置き、決算書等及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

### 第2 審査の結果

#### 1 決算計数について

審査に付された一般会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は、誤りのないものと認められる。

#### 2 事業執行等について

特に意見を付する事項はない。

### 第3 決算の概要

#### 1 歳入歳出決算の状況

##### (1) 一般会計

##### ア 歳入

(単位：千円、%)

科目(款)	予算現額	収入済額	比較増(△)減額	収入率
使用料及手数料	10	0	△ 9	0.0
財産収入	215,960	158,632	△ 57,327	73.5
諸収入	33,000	101,451	△ 68,451	307.4
計	248,970	260,085	△ 11,115	104.5

歳入は、第7款使用料及手数料ほか2款であり、予算現額2億4,897万円、収入済額2億6,008万余円、比較増額1,111万余円、収入率104.5%である。

歳入の主な内容は、

・財産収入のうち、財政調整基金等の運用による利子及配当金 1億5,863万余円である。

なお、第12款諸収入の収入率(307.4%)が高率となった理由は、歳計現金平均残高の増及び運用利率の変動による増によるものである。

##### イ 歳出

(単位：千円、%)

科目(款)	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	15,509,000	15,142,646	0	366,353	97.6
公債費	40,000	2,261	0	37,738	5.7
計	15,549,000	15,144,908	0	404,091	97.4

歳出は、第2款総務費及び第16款公債費の2款で2項4目に区分し執行しており、予算現額155億4,900万円、支出済額151億4,490万余円、不用額4億409万余円、執行率97.4%である。

総務費の主な執行内容は、

・株式会社新銀行東京への出資金及び職員費等に要したもの  
(項) 会計管理費 (目) 管理費 146億6,141万余円である。

なお、公債費の執行率が5.7%と低調となった理由は、市中銀行からの一時借入がなかったこと、及び繰替利率の低下によるものである。

2 財産の管理状況

ア 財産

区 分	平成16年度末現在高	平成15年度末現在高	増(△)減
1 物 品	2 点	2 点	0 点
2 基 金	100,000,000 円	100,000,000 円	0 円